

部会名	ライフコース多様化とテレワーク部会 (ライフコース=さまざまなライフイベントに遭遇する人生の道筋)
背景 実施目的	<ul style="list-style-type: none"> ○「女性とテレワーク部会」として活動後、2012年度より男女を問わない参加者を想定して「ライフコース多様化とテレワーク部会」として活動している。 ○テレワークは、多様なライフコースにおける多様なライフイベントと仕事との両立に有効である。育児・介護等による離職を防止し、休業・短時間勤務からフルタイム勤務への復帰をサポートして、企業とワーカーとのWin-Winの関係実現に貢献することができる。 しかしながら、なかなか普及していかない実態がある。 ○昨年度は、「テレワークの推進と理解促進のための具体的方策の検討・研究」を主眼に、ワークスタイル変革の各種事例、就業環境や働き方、労働制度・評価制度などについての講演や企業訪問、ディスカッションを行うとともに、テレワークについての理解促進の施策として、「テレワーク川柳」を公募し冊子にして発表するなど、活発な部会活動を行った。 ○今期は、変化著しいワークスタイルの様々な事例について更なる調査・検討を行うと共に、労働制度、男性と女性の働き方の現状などについて研究を進め、テレワーク推進の課題や対策の更なる深掘りを行う。 また、「テレワーク川柳」についても昨年度に引き続き取り組みたい。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○研究項目(例) <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークスタイル変革の各種事例(企業見学、講演等) 2. テレワークと労働制度(労働法の基本知識、労働者の立場に立った労働制度の現状等) 3. 男性と女性の働き方(育児・介護及びそれ以外へのテレワークの広がり、男性の働き方の現状) 4. テレワーク川柳(公募・審査・ディスカッション) ○会合予定 <ul style="list-style-type: none"> ・7月と9月～3月に1回/月、全8回開催 第1回:7月22日(金)14時30分～16時30分 ○実施形態 <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業訪問・講演・事例発表とディスカッション 2. 「テレワーク川柳」の公募・審査とディスカッション
部会長	北村 有紀 (NTTデータ)
アドバイザー	佐藤 百合子 (国際女性教育振興会)
事務局	荒木 浩一 (日本テレワーク協会)